



泊山っ子だより



<http://www.yokkaichi.ed.jp/~tomari/cms2/htdocs/>

全国学力・学習状況調査結果の概要について

本年度は4月18日に6年生を対象に、国語科・算数科が実施されました。この度、調査結果が届きましたので、本校の結果の概要をお知らせします。



【本校の結果と分析】



1 各教科の全国平均との比較（平均正答率を比較）

国語科、算数科ともに全国平均をわずかに下回る結果となりました。

*昨年度まではA問題・B問題の区別がありましたが本年度から1つにまとめられました。

2 問題別の本校の解答状況（問題別の主な結果<正答率>を以下に示します）

【○；全国平均の正答率を上回った問題。●；正答率が低い・全国平均を下回った問題】

<算数科>（抜粋）

○2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く。【2-(2)】

○加法と乗法の混合した整数の計算をすることができる。 $6+0.5\times 2$ 【2-(4)】

●減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く。【3-(2)】

(2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめると、どのようになりますか。
下の□の中に、「わられる数」、「わる数」、「商」の3つの言葉を使って書きましょう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましょう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

*3つのキーワードを使って文章で記述する問題です。

「商」の意味を正しく理解していないと解答できません。

誤答の中には、キーワードが抜けていたり、式で書いてしまったりする例が見られました。

「説明する・文章で考え方を記述する」ような解答形式の問題が本校児童にとって苦手な領域になっています。

授業の中に取り入れていきたいと考えています。

●目的に合わせて必要となる二つの数量を選び出すことができる。【4-(1)】

●示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式する。【4-(2)】

*学校通信No. 5で紹介しましたゴンドラに乗るのは何秒後か?の問題です。

問題文をよく読んで何を問われているかを整理する力が必要になります。

●示された除法の式の意味を理解している。【3-(4)】

リボンを0.6m買ったときの代金が180円でした。このリボン1m分の代金は?



1800÷6は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ問題

あ；0.6m い；1m う；6m え；10m



<国語科> (抜粋)

○情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える。【1二】

○学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う。【1四(1)】

・調査のたいしょう ・友だちにかぎらず ・公衆電話についてかんしんをもつ

●文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く。【1四(2)】

●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらかく【2一】

●ことわざの意味を理解して、作文に利用できる。【3四】

*習うより慣れよの意味を知り、適切に使うこと。



3 指導の工夫・改善(児童質問紙・学校質問紙とかかわって)

☞「算数の授業の内容はよく分かりますか」(本校児童; 88.3%, 全国; 83.5%)

11.7%の子どもたちがNOと答えていること及びその対策について話し合いました。

☞本校児童の算数科の弱みとして、除法及び単位量に関する問題及び「算数用語を使って解答について説明する」という活動において苦手意識があるように考えられます。

授業において、子どもたちが問題文の状況を理解できるよう指導過程を工夫し、子どもたちの主体的な活動・言語活動を意識した指導を続けてまいりたいと思います。

一方、基礎・基本の計算などの指導が定着してきており、一定の成果が出ているものと捉えています。今後も数直線や図に表すなどの指導を繰り返し行いたいと思います。また、「算数の授業で、問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか？」に対して本校児童85.0%(全国87.0%)となっています。

本校では、引き続き、ノート指導に重点を置いて取り組んでいきたいと思っています。

☞「国語の授業の内容はよく分かりますか」(本校児童; 95%, 全国; 84.9%)

☞国語科の弱みとしては、文脈を意識し、主語と述語・接続語を使って文章を書くこと、目的に応じて適切に話すことに苦手意識があるものと考えます。書く活動に意図的に取り組みたいと思います。また、「ことわざ」についても適宜指導してまいります。

一方、文章の読み取りや漢字の書き取りについては一定の成果が出ているものと捉えています。朝学習をさらに充実させて基礎・基本の習得⇒定着に努めてまいります。

4 家庭学習・生活習慣(児童質問紙・学校質問紙とかかわって)

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか?」; 76.7%(全国71.5%)

☞本校児童は、家庭学習の内容が主に「宿題をすること」になっている状況です。今後は予習や復習などさらなる主体的な学習(自主学習ノート等)の充実が求められます。

<保護者の皆様へ>

家庭学習は学習内容の定着のみならず、基本的な生活・学習習慣につながります。全学年でお子さんへの励まし、声かけをよろしくお願い致します。

☞本校児童は、以下のように学校生活を前向きに考える子どもたちが多くいます。

「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思いますか?」98.4%(全国; 97.1%)

「人の役に立つ人間になりたいですか?」96.7%(全国; 95.2%)

「学校に行くのは楽しいと思いますか?」88.3%(全国; 85.8%)

泊山小学校の子どもたちのために、共通理解を図りながら「授業づくり・なかまづくり」に取り組んでいくことを夏季休業期間中に全教職員で改めて確認致しました。

本校では、「日々の授業を大切にすること」ということで、「授業のねらいや目標を明示すると共に授業終末には、まとめ・振り返りを書く」授業に取り組んでいます。

学力調査は、子どもたちの学力を把握する一つの側面です。今回の調査結果に一喜一憂することなく、腰を据えた取組を今後も続けていきます。

皆様のご理解とご支援を引き続きよろしく申し上げます。

